

地域学校協働活動、例えば、こんな事例があります！

西淀川区 香蓑・御幣島小学校区 かみの・みてじま安全マップ

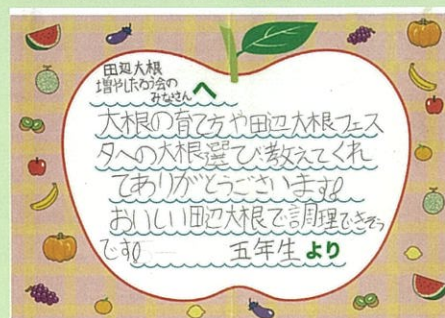
学校選択制で校区を越えて通学する児童もあり、より通学路の安全が重要であることから、コロナ禍で、ステイホーム中에서도できる活動として、地域内に2校ある小学校のはぐくみネットが協力し、「安全マップ」を作成しました。マップは子どもたちが見やすいように、子ども110番の家マークや危険箇所を明記するなど工夫されています。



東住吉区 田辺小学校区

田辺大根づくり体験授業

地域の多くの人が草花を育てているところに着目し、環境にやさしい土づくりを学ぶ「エコにチャレンジ」講座を生涯学習ルームで実施。そこで微生物を用いた土づくりを学んだ受講者と共に、田辺小の栽培委員会（クラブ）の活動として、地域の伝統野菜である「田辺大根づくり」が始まりました。それが今では、5年生対象の体験授業となっています。収穫した大根を駒川駅前商店街の「田辺大根フェスタ」に出品。家庭科の授業では、収穫した田辺大根を用いて味噌汁をつくり、体験授業でお世話になった地域の人々にふるまうなど、収穫から調理にいたるすべてのプロセスにおいて「田辺大根づくり」が地域づくりや学校教育支援に活かされています。



子どもたちのために、あなたの力を活かしてみませんか？

「地域の子どもたちのために役に立ちたい」という熱い思いを持つ地域の方々に、様々なボランティア活動をしていただくことにより、子どもたちのより充実した教育活動が実現します。



朝の散歩を兼ねて登校時の見守りをしています



お花や野菜づくりが大好き



裁縫と料理なら任せて



昔の道具の使い方を教えられるよ



本が好き！図書室のお手伝いしたいです

■お問合せ先
大阪府教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当 または 各区役所 はぐくみネット事業担当 まで
電話 06-6539-3347 FAX 06-6532-8520

2023年1月発行

子どもたちの豊かな学びと地域の未来のために

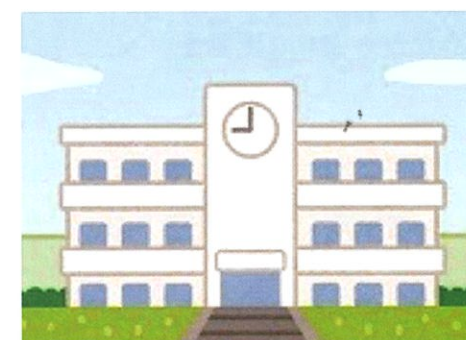
～教育コミュニティづくりと地域学校協働活動をすすめるために～

地域学校協働活動とは？

幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」をめざし、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。

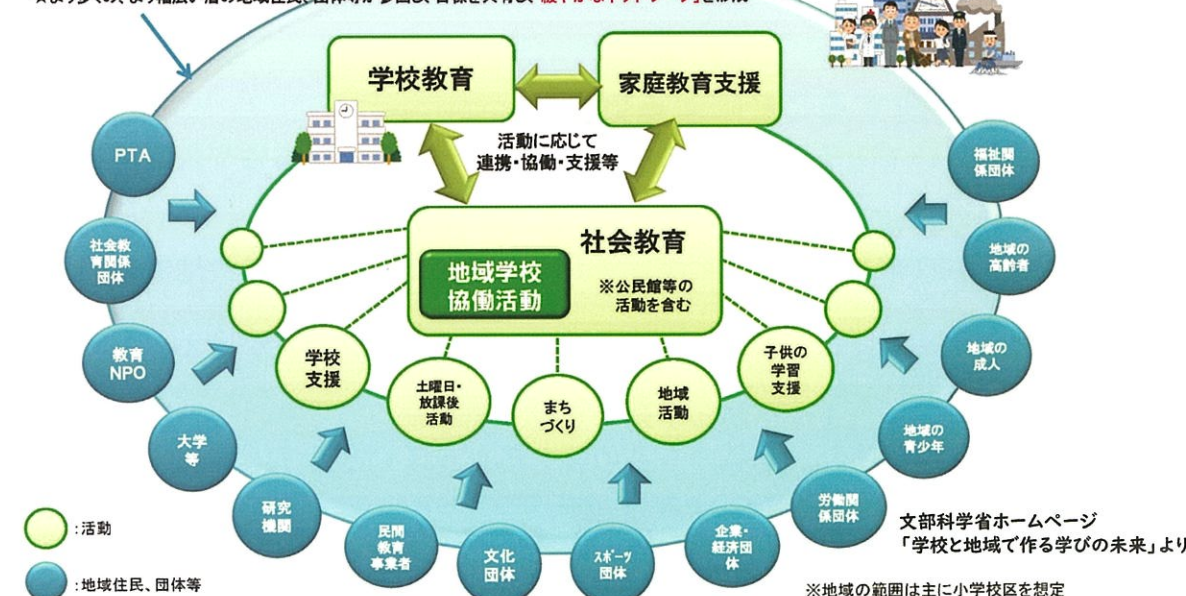


学校と地域をつなぐ
情報発信



情報共有・意見交換の
場づくり

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



※地域の範囲は主に小学校区を想定

大阪府教育委員会

地域学校協働活動で、子どもも、おとなも、地域も、学校も、元気に！

大阪市の地域学校協働活動を支えるしくみ

小学校区教育協議会－はぐくみネット－ (地域学校協働本部)

市内小学校区*に「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」を設置し、学校・家庭・地域をつなぐコーディネーターが調整役となり、地域団体などと連携しながら活動を行っています。

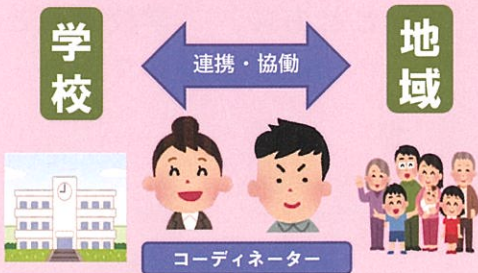
- 学校教育を支援する取組
登下校の見守り、緑化活動・美化活動、ゲストティーチャーなど
(詳しくは右ページの表を参照)
- 学校教育外の教育コミュニティづくりにつながる活動・行事等
子ども・親子向けの体験、世代間交流・子育てに係る催しなど
- 情報共有・意見交換の場づくり
- 学校と地域をつなぐ情報発信 広報紙・ホームページなど

市内中学校区*には「学校元気アップ地域本部」を設置し、学校と地域をつなぐ地域コーディネーターが調整役となり、学校支援ボランティアなどの協力を得ながら様々な活動を行っています。

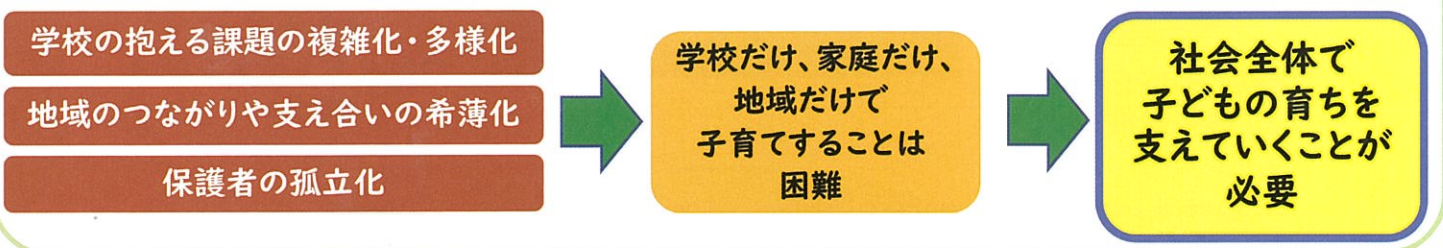
*義務教育学校を含みます。

地域と学校をつなぐ はぐくみネットコーディネーター (地域学校協働活動推進員)

地域と学校が協働した活動を進めていくためには、地域住民等や学校関係者との連絡調整、活動の企画・調整等を担うコーディネーターの役割が重要です。
地域をよく知るコーディネーターが、学校関係者とも円滑にコミュニケーションをとることによって、地域や学校の特色を活かした、多様な活動につながっていきます。



なぜ、学校・家庭・地域の連携・協働が必要なの？



地域が学校と連携することによる効果

- ・地域の方とのふれあいで、子どもたちの社会性や創造性、豊かな感性や規範意識、コミュニケーション能力が向上します。また、学びの意欲や主体性など、子どもたちの意識が向上し、学力の向上にもつながります。
- ・地域の人々に支えられ学んでいくことで、子どもたちに地域への愛着や地域の一員としての自覚が育まれます。
- ・子育て家庭の孤立が抑制されるとともに、保護者は学校との関わりが増え、家庭教育の意識づけや学校教育の理解につながります。
- ・地域の方にとっても、これまでの経験が活かされ、生きがいづくりにつながります。また、人と人とのつながりが深まり、地域づくりの輪が広がっていきます。

毎朝の登校時の声かけやあいさつが、毎日の生活の張り合いになっています

親だけでなく、いろんな方が子ども達の成長を見守ってくださり、ありがたいです

～学習指導要領「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて～

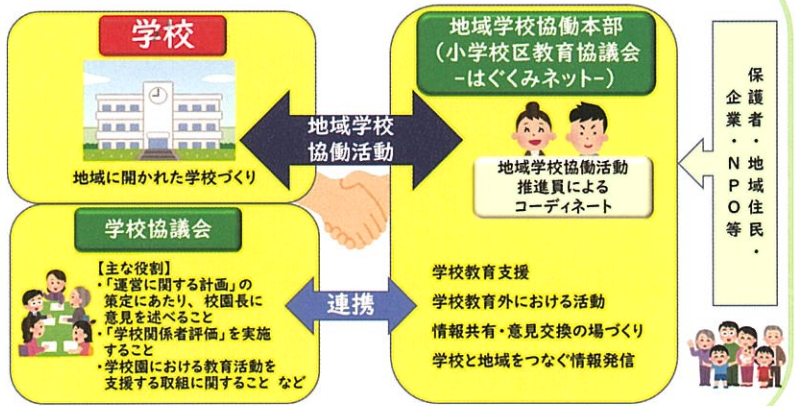
変化の激しい社会を生きる子どもたちの「生きる力」を育むために、地域と連携・協働した教育活動の充実が求められています。

学校教育の支援には、どんなものがあるの？

【登下校の見守り活動】 通学路の見守り、巡視活動、挨拶の声かけ など	【学習支援】 朗読会、書写指導、かるた大会、社会見学、地域めぐり、キッズマート、九九指導、そろばん指導、栽培・園芸活動、自然体験、科学体験、昔遊び、芋掘り体験、安心・安全についての学習、音楽鑑賞会、和楽器の体験、工作教室、ミシン操作・裁縫・調理実習の指導補助、食育、着付け体験、プール開放、スポーツ指導・体験、盆踊り指導、留学生との交流、障がいの理解（車いす体験・手話体験）、環境学習、人権学習、プログラミング教育、職業体験（キャリア教育）、防災訓練、地域清掃、平和学習、地域の企業・商店街・校園・大学・NPOと連携した取組、クラブ活動の指導補助など
【学校の環境整備】 学校図書館の整備・本の整理、ビオトープの整備、校内緑化、清掃 など	
【朝学習／放課後学習の支援】 始業前・放課後に運動・遊び・学習・読書・読み聞かせ、なわとび週間 など	

学校協議会との連携

学校協議会は、保護者や地域住民の皆さんの学校運営への参画を促進し、その意向を反映することにより、開かれた学校運営を実現し、よりよい学校教育を推進することをめざして、すべての学校園に設置されています。
地域学校協働活動推進員の参画等により、学校協議会と地域学校協働本部（はぐくみネット）の双方が、車の両輪として相乗効果を発揮することで、活動の活性化につながることが期待されます。



学校に地域のサポートが入ることによる効果

- ・図書館の整備や受付を学校司書とともにサポートしてもらうことで、開室時間が多くなるなど、子どもたちが読書をより楽しむことができます。
- ・花壇の水やりや花の世話をサポートしてもらうことで、校内の環境が整えられます。
- ・理科の実験や家庭科の実習の補助など、教科学習をサポートしてもらうことで、子ども1人ひとりへの学習支援がきめ細かくなって、取りこぼさない指導体制に近づくことができます。
- ・学校に地域のサポートが入ることで、教員が子どもと向き合う時間が増え、教職員の負担軽減につながります。

子どもたちが、日頃教室では見せない顔を見せてくれ、毎回新たな発見があります

小学生には実際にやってみる経験がとても大事。地域の方に関わってもらうことで、子どもたちの経験がより豊かにひろがります